(要旨)

区政を聞く一般質問 (要旨) 詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会 公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

かつしか区議会だより No.242

日本語学級 などく

消費税増税と暮らしを守る施策 問10%への増税は、区民の暮らしに大 問10%への増税は、区民の暮らしに大 を伺う。 を伺う。 を伺う。 答税率の引き上げだけを捉えれば区民 を伺う。 が、増税分は子育て支援などの財 るが、増税分は子育て支援などの財 るが、増税分は子育で支援などの財

の引き上げだけを捉えれば区民

消費税増税 区民のくらし守れ深刻な不況なのに

が、区長の認識氏の暮らしに大

育て支援及びまちづくりが岩地域の子供たちへの教育・

問新小岩駅周辺に必要な用途・機能、 周辺の公共施設の状況など、さまざまな観点から再開発事業を進めるべきと思うがどうか。 答当地区の都心へのアクセス利便性が非常に高い立地条件を最大限に生かしつつ、隣接駅で進められている再開発事業の進歩等を注視しながら、関発事業の進歩等を注視しながら、どのような商業機能等がふさわしいのか、地域の人口や消費動向、公共サービスの分析・検討を行い、再開発の事業性確保や施設計画のハード発の事業性確保や施設計画のハード税点であるタウンマネジメントも重視をし、持続可能性を確保できる計視をし、持続可能性を確保できる計れた。 画案となるよう、準備組合と連携し視をし、持続可能性を確保できる計

子どもの医療費助成

公共交通事業者に対する本区

問今後、本年8月6日の京成線停電事 さ事業者とのホットラインなどで区 と鉄道事業者とのホットラインなどで区 と鉄道事業者との赤ットラインなどで区 と鉄道事業者の責務であるが、区として で区と鉄道事業者の責務であるが、区として がいるであるが、区として 道事業者の責務であるが、区として 道事業者の責務であるが、区として 域住民の関心事となっている。立石域住民の関心事となっている。を考えている。と考えている。と考えている。

を図ってきた。今後、(仮称)行うこととし、昨年9月以降、行うこととし、昨年9月以降、で整備する取り組みの一環として整備する取り組みの一環として て、(仮称)子ども未来プラザ答基幹型児童館7館の核育をエート 区政を聞く一般質問

答東京都の立ち入り検査に同行し検査は施設にどう基準を満たさせるのか。となっている1年6カ月の間に、区となっている1年6カ月の間に、区間認可外保育施設指導監督基準に満た

た区としても低所得者等向けのプレ をアム付商品券の発行や、中小企業 等向けの消費税率改定対策資金融資 の創設などの対策を講じている。今 後、中小企業資金融資の利子補給の 追加などさらなる支援策を検討する。 追加などさらなる支援策を検討する。 **支援を区独自に行うべきと思うがどうか**。

答32区においては、統一保険料方式により所得に応じて適正な保険料を設定するとともに、個々の実情に応じ程減策も講じた上で、昨年度に引き続き特別区長会独自の激変緩和措置を実施している。区としては、保険料軽減のための区独自の支援を実施する考えはない。
おの位置付けがあり、全ての生徒が参加できるようにする必要がある。要別修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行は、学校生活において特別の修学旅行費は実施前に支給すべきと思うがどうか。 育て支援行政に逆行するものであり、問子ども未来プラザ条例は、葛飾の子未来プラザ 答子ども未来プラザは、妊娠期育て支援行政に逆行するもの

など

答子ども未来プラザは、妊娠期から子を充実させるための重要で必要な新を充実させるための重要で必要な新を充実させるための重要で必要な新を充実させるための重要で必要な新を充実させるための重要で必要な新している。

がどうか。
できる考えはない。 、きと思う 今後



いますでは、最大限区民の意見が反映されるよう区として対の意見が反映されるよう区として対応すべきと思うが、決意を伺う。 答これまでの議会からの意見を踏まえ、本年11月以降に沿線住民や地元自治町会等にアンケート調査を実施し、高架下の活用についての意向を把握していく。その上で区としての活用していく。その上で区としての活用方針等を取りまとめ、東京都・京成電鉄との三者協議に反映させるように努める。

問今後、議員の全員協議会での議論を を定委員会をはじめ、新基本構想の 等定で委員会をはじめ、新基本構想の 策定に係る手続きについては、随時、 策定に係る手続きについては、随時、 意会に報告し、いただいた意見を踏 まえて内容を修正しながら進めてき た。本年10月9日の全員協議会での議論を

た。本年10月9日の全員協議会での 一次ででは、本年10月9日の全員協議会での 大学でである。 大学の作用を進めていく。 大学の作用を進めている。 大学の作用を進めている。 大学の作用を追いる。

ものであり、

多文化共生社会の実現を新たな人口政策の展開と

同条例を撤

るために、日頃の窓口での説明るために、日頃の窓口での説明を活用する前に習得しておくべを活用する前に習得しておくべを活用する前に習得しておくべを活用する前に習り、一様し、簡単で明瞭な「やさし」を「やさしい日本語」は、翻訳機どを活用する前におり、全職員が標準的の活用により、全職員が標準的の活用により、全職員が標準的の活用により、全職員が標準的であることから、可能の窓口での説明を表し、

区政を取り巻く状況 区が今後も地域の活力を維持し、持 続的に発展していくための施策の展 開が必要だと考えるが、区の見解を 開が必要だと考えるが、区の見解を 開が必要だと考えるが、区の見解を 開が必要だと考えるが、区の見解を 開が必要だと考えるが、区の見解を 一されたい。 答人口総数の増加・維持に加え、バランスの取れた年齢構成となるよう、 生産年齢人口や年少人口の増加に向けた施策を展開していく必要があると考えている。そのため、災害に強く犯罪の少ない安全・安心な街づくりをはじめ、公共交通網の整備等による街の利便性向上、良質な子育てよる環境できる環境でとり、さらには人と自できる環境でくり、さらには人と自なが共生できる環境にやさしい街づくのこれでいく。

現の質問項目※他の質問項目のでいく。

外国人区民への 別国人区民への 別国人区民とのコミュニス、外国人区民とのコミュニス・ のな活用を進めていくのか、 のは活用を進めていくのか、



る。こう

機にはA 参考事例 のに使

ねるごと

3

会計年度任用職員制度の導入という問会計年度任用職員制度の導入という時のでは、民間委託のほか常勤職員をな動向をどのように考えるのか伺う。な動向をどのように考えるのか伺う。な動向をどのように考えるのか伺う。

うい日本 説明を点 ない日本

取り組み東京2020大会を契機とした 1020大会のまちの記憶と -ト」であることを表示走行ルート沿道に「聖シガシーとして後世にり走行ルートを東京20分走行ルートを東京20分 1964年東京オリンピックの展示 問上乗せ補助などを実施しても残る財源の子育で支援への措置をどのようにしていくのか、区の見解を伺う。にしていくのか、区の見解を伺う。 答保護者が負担軽減を実感できるよう補助制度を見直し、私立幼稚園などに食材料費の区負担の対象範囲を広げる。特定負担額へも新たな助成を実施するほか、保育人材の確保などに取り組み、支援の充実に取り組む。に取り組み、支援の充実に取り組む、であり組み、支援の充実に取り組む、であり組み、支援の充実に取り組む。 施設となるよう指導を行う。
ことを丁寧に伝え、早期に基準適合
ことを丁寧に伝え、早期に基準適合

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会

公式サイトや区政情報コーナー (区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

175

問今般の清掃施設の再編によって、区民サービスにどのような効果をもたらすのか、区の見解を伺う。 答奥戸分室・葛飾中継所の敷地へ施設を再編し、区の中央部に位置する地を再編し、区の中央部に位置する地を再編し、区の中央部に位置する地で、窓口サービスの利便性向上を図る。 造成るべきと考えるが見解を伺う。 造めるべきと考えるが見解を伺う。 造がるべきと考えるが見解を伺う。 造りるべきと考えるが見解を伺う。

て検討していく。いでいく取り組みと考え、「域のシンボルとして次の域のシンボルとして次ので加え、開催都市として

・要望を伺いながら検討を進めての再編は、地域や施設利用者の設設に改修することを検討する。対 項目 跡地等の活用 など 信いながら検討を進める。 地域や施設利用者の意見

バス路線の充実 門がイクル&がスライドの利用状況、 一学後の整備の展望について伺う。 一学後の整備の展望について同う。 一ト案の検討を進めている。 ルート案の検討を進めている。 ルート案の検討を進めている。 ルート案の検討を進めている。

問障害者スポーツ指導員の活動状況を同う。また、障害者スポーツ普及のため指導員養成支援を積極的に行う必要があると思うがどうか。 答ボッチャ、フロアホッケー、トランポリンのほか障害者水泳教室での指導など年間を通してさまざまな場面で活動していただいている。障害者スポーツを変の音及を図り、誰もがスポーツを楽りめる環境整備に取り組む。

他の質問項目

新・担い手3法の改正と区の対応間区は発注者としての取り組みをさらに進めるとともに、地域の担い手の確保に向け建設業者団体との協働を確保に向け建設業者団体との協働を選者の意見を伺いながら、公共工事業者の意見を伺いながら、公共工事の担い手の中長期的な育成・確保に向けて具体的な対応策を検討する。向けて具体的な対応策を検討する。 情報のユニバーサル化を区民の命を守る取り組みと 転車対策区民の生命と財産を守る自動車・自

問本区においても、自転車保険加入義 務化に向けたさまざまな取り組みを 推進していくべきと思うがどうか。 答保険加入促進の周知をし、「区民交 通傷害保険」制度導入などの方策を 検討している。自転車 な利用環境を創出するため、自転車 な利用環境を創出するため、自転車 お川岩公園の駐輪スペース問題にも早 急に対処すべきと思うがどうか。 きだまな取り組みを推進する。 同辺の駐輪場は将来の需要予測など に基づき適切な施設の計画を立て、 着実に整備を進める。 問知の質問項目 急発進防止装置の補 *他の質問項目 急発進防止装置の補 助

今年度試行実施した夏季休業期間中の児童の見守り 問今回のサマーチャレンジの試行実施において、各校の登録者数や参加人において、各校の登録者数や参加人数等の状況を伺うとともに現段階での試行実施の効果を教育委員会はどのように捉えているか見解を伺う。各登録者数は、二上小学校37人、半田小学校53人、宝木塚小学校53人、半田小学校53人、宝木塚小学校66人である。夏季休業期間の要望への対である。夏季休業期間の要望への対応として有効なものと考えており、入退室の時間が自由なことが保護者にとって利用しやすい実施内容だっ

検討委員会での検討内容 など他の質問項目 多文化共生社会推進やすい対応が可能になると考える。

葛飾区議会公式サイト

http://www.katsushika-kugikai.jp/

本会議の模様は、葛飾区議会公式サイトでご覧いただくことができます。

者層への

合

確実な環境整備と支援体制な外国人支援・多文化共生の

※他の質問項目 財政負担 など まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まえ、設置に適したバス停付近の公 まる。

問生活する上での不安や孤立を防ぐため、外国人の大人向け日本語教育を 推進していくべきと思うがどうか。 答日本語ボランティアの皆様との協働 を深めて外国人区民に対する日本語 学習機会の創出をさらに推進する。 学習機会の創出をさらに推進する。 開を図るべきと思うがどうか。 開を図るべきと思うがどうか。

整備をに

問外国人支援・多文化共生のためには、 言語支援のみでなく全庁が連携した 支援体制整備が必要と考えるがいか がか。また、区民に接する全ての職 員への研修や多言語支援のガイドラ インなどが必要と考えるがいか に備え、外国人区民から相談があっ た際には、各課が連携して課題解決 に当たる体制をつくっていく。また、 に当たる体制をつくっていく。また、 に当たる体制をつくっていく。また、 のスキルアップを図るとともに、全 庁で活用できる多言語支援のガイドラ 力応マニュアルを作成する。 を外国人区民との共生を進める ため、関係者・関係団体同士や区と の情報交換の場を設けてはどうか。 を外国人区民との共生を進めるには、 を外国人区民との共生を進めるには、 を外国人区民との共生を進めるには、

の新規育成とスキルアップ ※他の質問項目 日本語ボランティア 交流団体等と協働で進めていく。 で流団体等と協働で進めていく。

用し、地域特性を生かした交流を楽答身近な地域にある公共施設などを活

答災害時対応ができる人材の育成の18の要があると思うがどうか。問防災士の資格取得費用の助成を始め防災士の資格取得推進

問現場のニーズの把握や協働を進めるため、関係者・関係団体同士や区との情報交換の場を設けてはどうか。
答外国人区民との共生を進めるには、地域で活動するさまざまな国際交流団体や関係者との協働が欠かせない。
今後、各団体の意向を確認し情報共有や意見交換の場を設定していく。
他の質問項目 専門的な支援のための所管の組織強化 など ※他の質問項目 S-Bの検討 など ※他の質問項目 S-Bの検討 など でしたいできるよう十分検討し導入に ピールできるよう十分検討し導入に ピールできるよう十分検討し導入に でしたいきるよう十分検討し導入に かい 組みを進めていく。 ウは具体的な取り組みを進めていく。

では、 一次であり、今後、助成を検討する。 有効であり、今後、助成を検討する。 有効であると思うがどうか。 必要であると思うがどうか。 参幅広い知識を持った方々が地域に密 着した防災訓練等の活動に積極的に 参加いただくことで、お互いに顔の 見える関係をつくり上げ、地域にお 見える関係をつくり上げ、地域にお

保育園等の災害対策 について区の考えを伺う。 を行い、安全が確認できた施設ではを行い、安全が確認できた施設ではを行い、安全が確認できた施設ではを行り早期に保育を実施する。可能な限り早期に保育を実施する。 「関との連絡体制について伺う。また、各部訓練などを利用し、通信訓練の検討をしてはいかがか。 をメールや画像等の利用もできる、より実用性が高い機器の導入とともに、りまれを有効に活用するための各部訓練などを利用し、通信訓練の検討をしてはいかがか。

が重要だと考える。区の見解を伺う。 答業務等でOCRやRPAを活用し、 業務の効率化を図ってきた。また、 業務の効率化を図ってきた。また、 地域の住民説明会などでVRを活用 している。今後は区民向けの問い合 わせ業務においてAIを活用する予 定である。さらに、障害者向けの移 動支援ツールや、QRコード決済な どの活用も検討していく。区では、 さまざまな地域課題の解決に向け、 さまざまな地域課題の解決に向け、 あらゆる場面で新技術を積極的に活 あらゆる場面で新技術を積極的に活 用し、区民サービスや生産性の向上 を図っていく。

問区内商店会のキャッシュレス化を進めるためにも、民間の決済事業者のノウハウを生かした区内独自の電子マネーサービスの創出を考えてはどうか。区の見解を伺う。答店舗・消費者の双方にとって受け入れやすいキャッシュレス決済の手法について、東京都が実施予定の電子マネーサービスの創出を注視し、民間決済事業者との連携も視野に入れつつ、関係機関と連携・協議しながら、区内独自の電子マネーサービスの創出を注視し、民間出の検討を進めていく。創出の検討を進めていく。

社会の実

答東京2020大会における する機会の創出について伺う。 中の交流など大会の開催を実感 本区施設の活用 1万5千人を超える選手が参加することから、事前キャンプ等を通じてことから、事前キャンプ等を通じて選手と地域との交流が図れれば、区民が大会開催をじかに感じられるまたとない機会になると考えている。今後、組織委員会等と連携し、交流の機会の創出に取り組む。また、パブリックビューイングの実施なども含め、大会を実感できる機会を設け、多くの区民にとってかけがえのない体験となるよう取り組む。
*他の質問項目 バレーボール公式練習会場 など

他の質問項目 災害弱者支援 練について検討を進めている。

など

狐興基本計画

問PTA活動の意義と支援、図書ボラ 動への支援の在り方について伺う。 動への支援の在り方について伺う。 動への支援の在り方について伺う。 進めることは、子供の健やかな成長 に不可欠であり、仲間づくりや地域 に不可欠であり、仲間づくりや地域

つながる支援を行う。 性を尊重し、活動の充実や活性化に 有意義なものと考える。 今後も主体

※他の質問項目

居場所、サマーチャレンジの拡充を子供たちが安全に過ごせる新たな

-CT支援 など

区政を聞 般質問

詳しい内容は、会議録(11月下旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

明だが、適正な定数管理の下、新た 引き続き会計年度任用職員を含めた 動向については、児童相談所開設や めていく。また、職員数の将来的な な行政需要に応じた執行体制を確保 定年延長制度の動向などがあり不透 より、効率的な執行体制の確保に努 適切な人的配置や民間委託の活用に

※他の質問項目 処遇等の変化

『本区が目指す児童相談所の将来像を 児童相談所の設置に向けた

合区は、これまでも子育て環境の充実 を重点プロジェクトに位置付け、さ の限界を突破し、迅速な対応により の児童福祉法改正により本区でも令 じていた。 こうした中、 平成28年度 携を図り対応してきたが、法的な介 センターが中心となり関係機関と連 わけ児童虐待の対応は、子ども総合 まざまな事業を展開してきた。とり 虐待の早期発見や重篤化の防止につ 検討を進めており、これまでの支援 和5年度の児童相談所開設を目標に 入力がないことなどから、限界を感

※他の質問項目 職員の確保と育成

問防犯カメラの設置と活用に今後どの 解を示されたい。 ように取り組んでいくのか、区の見

6防犯カメラについては、平成30年度 考えている。今後も地域団体と十分 の下に設置となる予定である。今後 **総台と合わせ計
総台が地域との協働** 心な街づくりの実現に一層取り組ん 設置について検討を進め、安全・安 協議をしながら、効果的・効率的な 要となる箇所も分析していきたいと 警察と連携して新たに設置が必

的な執行体制の構築を目指してきた。 ※他の質問項目 過去4年間の街頭防 犯カメラの設置台数の実績

幼児教育・保育の無償化

区の見解を示されたい。 充実などに取り組むべきと考えるが、 食材費の無償化が真に児童の利益に つながるよう、施設における給食の

各国では実質徴収としている給食に要 につながるよう努めていく。 各事業者と協働し、真に児童の利益 観点も取り入れていきたいと考えて 食の提供はもちろんのこと、食育の ではなく、栄養バランスの取れた給 とした。この食材料費の無償化を通 もとより、私立幼稚園や認可外保育 実質無料になっていた認可保育所は いる。このような取り組みの強化を して、単に保護者負担を軽減するの する食材料費を、本区では従前から 施設まで対象範囲を広げ、区の負担

※他の質問項目 幼児教育・保育事業

金町地域の街づくり

|理科大学通りの歩行空間の確保は北 が、区の見解を伺う。 の都市計画決定を行うべきと考える 猶予も許されない状況にあり、早期 口の街づくりが進捗する中、一刻の

※他の質問項目 答理科大学通りの歩行空間の確保は課 見交換を行い、積極的に進めていく。 今後も地権者の方々とも引き続き意 指して関係機関と協議を進めている。 りは、現在都市計画手続きを進めて することが予測される。理科大学通 題であると認識している。今後、東 て位置付けており、拡張整備につい において、将来拡充を図る箇所とし いる東金町一丁目西地区の地区計画 されており、利用者がますます増加 京理科大学の新校舎建設などが予定 ては令和3年度の都市計画決定を目

新

か

つ

か

安心でおいしい給食の提供を 住民に寄り添ったまちづくりと

答6月17日にJR東日本の社長、副社 長に会い、駅舎改良などを要望し、 意見交換を行った。副社長から北口 に出なかったのか。 の改良や南北自由通路に関しては話 ったのか。具体的に混雑する改札口

※他の質問項目

との話があった。今後も要望活動を けて取り組みを進めていく。 継続するとともに、利便性向上に向 的に難しいため、相談させてほしい る案が紹介されたが、現状では構造 売店のところに新たな改札を設置す 準備組合との調整状

問JR金町駅の駅舎、特に朝夕の改札 付近の混雑は激しくなり、喫緊の課 ているが、感触はどのようなものだ の面談の際には区から要望書を出し 題である。6月のJR東日本社長と 金町駅周辺のまちづくり

問食品ロスが社会問題となっている中 残菜の抑制について、現在、各学校 員会としても取り組むべきと思うが 任せになっていると思うが、教育委

答食品ロスの削減に向けた対応は大切

栄養士、委託事業者と連携し、残菜

なものと認識しており、学校管理職

が減る取り組みを検討していきたい

と考えている。

問区では学校給食を直営から徐々に民 どのようにして給食の質を保ち、 拡大するにつれ、業者数も増えて質 たチェックしているのか。 の低下が懸念される。教育委員会は 間委託に切り替えているが、委託が

答委託事業者に対し、 年3回、 衛生管 理、調理技術などの確認を行うとと 務連絡会などで提示している。また、 もに学期末には各学校長からの評価 業務に問題が見受けられた場合など に基づき、その結果を委託事業者事 速やかに委託事業者と改善策を

※他の質問項目 ザル方式における項目追加

業者選定のプロポー

問学校の改築、長寿命化の今後の方向 36校の改修に着手、案2では39校の 今後20年間で案1では26校の改築、 性について、教育委員会の策定した いるが、現時点での考えを聞く。 改築、18校の改修に着手するとして 葛飾区学校施設長寿命化計画では、

含学校改築については、 現在進めてい の改築を進めていきたいと考えてい 次期改築校7校の実施を予定してい を踏まえ、改築校以外を対象として、 る。一方、長寿命化改修は、本計画 る。その後の改築校は、社会状況等 る6校のほか、昨年9月に選定した 体的な進め方については今後検討し 実施していきたいと考えており、具 する改修をできる限り多くの学校で 学習環境、学校生活の機能向上に関 を考慮しながら選定し、年1、2校

※他の質問項目 入札不調・再入札 東金町小学校改築の

新小岩公園

問本区が現在検討している新小岩公園 が必要か皆さんの意見を聞いて決め 会で区側から「どのくらい高台空間 再整備基本構想は、7月5日の説明 」旨の発言があったが、

もこの取り組みを行いながら、質の 低下が起こらないようにしていく。 話し合っているところであり、今後



待機児童の解消は過剰な施

を止め、独自の工夫をすべき

問今年度の年齢ごとの待機児 保育園待機児童の解消 鐘数と拡

大する定員数を伺う。

合待機児童数54名の年齢別内訳は、0 5歳児8名、合計で55名拡 の定員増を図る。 定で、さらに、補正予算で合計18名 いて、0歳児65名、1歳児97名、2 となっている。定員は当初予算にお **蔵児8名、1歳児32名、2歳児44名** 威児97名、3歳児88名、4歳児8名、 大する予

高待機児童解消に大きく貢献してきた 待機児童解消のため協力し 望し、対応していくのか何 給バランスが大きく崩れた場合には、 きたいと考えている。今後保育の需 る。引き続き協働体制を維持してい 定した経営を望めることは大切であ 民間保育事業者が将来にわたって安 育園運営法人の経営につい てどう展 てきた保 う。

問施設整備一本やりの待機児 応した取り組みを考えてい 公立施設の需給調整などニーズに対 万針を早急に改めるべきだ **\(\)** と思うが (童解消の

合待機児童解消を図るため、 業などの施策も合わせて行 用しやすい保育環境を実現 今後もさまざまな手法を駆 の施設整備を推進しているが、ソフ な運用やベビーシッター利用支援事 の調整や地域の偏りを解消 -的な取り組みとして定員の弾力的 っている。 していく。 使し、利 するため 定員構成

※他の質問項目

保育士確保

なげていく。

答防災機能強化、公園の魅力 岩公園などを高台化による避難場所 る安全まちづくりの方針では、新小 どの観点から検討を行っている。都 市計画マスタープランの水害におけ を前提に検討しているのか に位置付けており、高台化 を再整備 アップな

※他の質問項目 災害時の高さ の前提として考えている。 台清用

無所 属 **※**

設整備

※他の質問項目 育園整備 など 年齢層に配慮した保

「保育の質」確保

問空き定員が恒常化している公立保育 の理由は何か。 はできないか。できないとすればそ 園において大胆に定員を見直すこと

答2歳児から3歳児にかけて空きがあ 難しいと考える。 必要があることから、定員の変更は がある。地域の子どもが入園から卒 るが、家庭的保育事業所等の卒園児 園まで安心して

通える体制を整える あるため、現在の定員差を保つ必要 を受け入れる連携園としての役割が

問公立保育園の民営化を直ちに進め、

答子育て支援施設の整備方針に基づき ら、計画的に検討を進めていく。 新たな子育てニーズに必要な財源確 についても、保護者の理解を得なが していく。公設民営保育園の民設化 民間事業者による整備、運営に移行 公立保育園の更新の時期に合わせて、 はないかと思うがどうか。 保を図るなどの工夫を考えるべきで

問継続して質の高い保育を提供し続け 答保育士配置の充実と事務職員配置の 2つの課題について、10月からの無 築するなどにより、大胆に区の経費 見直しを図り、保育の質の向上につ 償化を契機に、区独自の加算として を投入すべきと思うがどうか。 るためには、区独自の補助制度を構